



2026年2月2日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 テ ィ ラ ド
代 表 者 名 代表取締役 CEO 兼 COO
 社長執行役員 宮崎 富夫
 (コード番号 7236 東証プライム)
問合せ先 常務執行役員 経理財務管掌 木下 薫
 (TEL 03-3373-1101)

通期業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025年11月4日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

(2025年4月1日から2026年3月31日)

連結

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	154,000	8,800	9,800	6,400	1,089.35
今回修正予想 (B)	160,000	10,900	12,200	8,700	1,517.32
増減額 (B-A)	6,000	2,100	2,400	2,300	—
増減率 (%)	3.9	23.9	24.5	35.9	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	159,235	7,316	8,101	4,250	653.84

個別

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	83,000	3,300	9,200	7,600	1,293.61
今回修正予想 (B)	82,000	3,700	11,100	9,400	1,639.40
増減額 (B-A)	△1,000	400	1,900	1,800	—
増減率 (%)	△1.2	12.1	20.7	23.7	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	80,196	2,795	8,827	5,675	873.08

2. 通期業績予想の修正の理由

連結売上高につきましては、主にアジア子会社の増収見込み等により、前回発表予想から6,000百万円上方修正いたします。

連結の利益項目につきましては、米国ビジネスにおける他拠点生産移管による改善が想定より進展したほか、関税負担分の取引先転嫁も進捗し、米国セグメントの利益が増加する見通しとなりました。アジア子会社の売上増加見込みによる増益も加わり、連結の営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益について、前回発表予想から増額修正いたします。

個別業績におきましては、受注減予想により売上高は減少するものの、想定していた減価償却費、研究費が減少する見込みとなったこと等により、営業利益につきましては、前回発表予想より増額修正いたします。また、受取配当金の増加、非上場株式の売却による投資有価証券売却益等により、個別経常利益及び個別当期純利益につきましても増額修正いたします。

今後も業績予想につきましては、最新状況を反映のうえ、適時かつ適切に開示してまいります。

(注) 上記予想数値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上